

請願

◆請願第1号

松崎町光興寺地区に建設予定の太陽光発電所建設計画に反対を求める請願

〔請願者〕

松崎町光興寺地区の防災と景観を考える有志の会

代表 榊原 幹夫

(一部採択)

請願事項1 継続審査
請願事項2 採択

付託常任委員会

総務常任委員長
報告要旨

今日まで良好な自然環境と日々の営みを大切に守り続けてきた住民にとっては、計り知れない不安や心配が憂慮され、当委員会として深く思いを馳せるものである。

地方自治法第99条は、国や地方自治体への意見書の提出規定であり、民間事業者への意見書

の提出は想定されており、故に請願事項1については対応することが不可能である。しかし、

※1再生可能エネルギー審議会からの答申を受けて市当局から指導書が送付されている当該事業者の回答の提出を待つて、その内容に対応して遠野市議会として慎重に判断すべきものと、当委員会では継続審査と決定した。

請願事項2については、

よって本請願は、請願事項1については「継続審査」、請願事項2については、「採択」という判断に至った。

何よりも本市の将来に禍根を残すことのない選択と、住民の安心安

全や福祉向上に寄与することが議会の使命である。

本会議では、請願を付託された総務常任委員長に対し、継続審査に対する質問がありました。

◆質問 菊池美也議員
当該事業所からの回答があったならば、その段階で審査をすぐに始めるのか。

市当局へは、情報を開示するよう申し入れをしているか。

◆答弁 瀧本孝一総務常任委員長
市当局が事業者からの回答を受けたならば、早い段階で対応したい。また、当局には情報を公表するよう申し入れる。

◆請願第2号

介護従事者の全国を適用地域とした※2特定最賃の新設を求める請願

〔請願者〕

岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野るみ子

(継続審査)

◆請願第3号

看護師の全国を適用地域とした特定最賃の新設を求める請願

〔請願者〕

岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野るみ子

(継続審査)

◆請願第4号

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める請願

〔請願者〕

岩手県医療労働組合連合会
執行委員長 中野るみ子

(継続審査)

意見書

◆発議案第2号

再生可能エネルギー発電施設導入に関する条例の制定を求める意見書

※1 遠野市景観資源の保全と再生可能エネルギーの活用との調和に関する審議会

※2 特定の産業または職業について設定される最低賃金

市は、再生可能エネルギー発電事業と環境保全等を両立させるため、事業者等が再生可能エネルギー発電施設導入を計画するにあたり、施設の適正な設置と管理を促すこと。自然環境保全、景観の保護、災害防止、生活環境の保全等を図るための配慮事項を考慮した事業抑制区域を定める条例を制定することを要望する。

発議案の可決により、平成31年3月15日付けで、遠野市長あてに意見書を送付しました。

議員発議

今定例会では、2件の議員発議案（意見書1件）が提出されました。

◆発議案第1号

遠野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

平成31年4月から遠野市の組織の名称が変更されることに伴う名称の改正。

答 タイミングを失しないよう情報を公開していく。

新制度
奨学金の返還支援

問 遠野市産業振興基金条例の一部を改正しようとする目的は何か。

答 産業振興基金を活用した事業の拡充をはかる。新規学卒者等の移住定住優遇策を、平成31年度から遠野市として新たに事業化しようとするものである。首都圏から遠野市へのUIJターンを促し、市内事業者の人材不足の軽減、人口の社会増を狙う。

問 想定している支援、補助の内容は。

答 市内の事業所に就業した際に、奨学金返還月額の2分の1の額（月額1万2千円が上限）に達するまで、2年間を期限とした返済

再生可能エネルギー発電施設導入に関する条例の制定を求める意見書

市は、再生可能エネルギー発電事業と環境保全等を両立させるため、事業者等が再生可能エネルギー発電施設導入を計画するにあたり、施設の適正な設置と管理を促すこと。自然環境保全、景観の保護、災害防止、生活環境の保全等を図るための配慮事項を考慮した事業抑制区域を定める条例を制定することを要望する。

発議案の可決により、平成31年3月15日付けで、遠野市長あてに意見書を送付しました。

遠野市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について

平成31年4月から遠野市の組織の名称が変更されることに伴う名称の改正。

答 タイミングを失しないよう情報を公開していく。

新制度
奨学金の返還支援

問 遠野市産業振興基金条例の一部を改正しようとする目的は何か。

答 産業振興基金を活用した事業の拡充をはかる。新規学卒者等の移住定住優遇策を、平成31年度から遠野市として新たに事業化しようとするものである。首都圏から遠野市へのUIJターンを促し、市内事業者の人材不足の軽減、人口の社会増を狙う。

問 想定している支援、補助の内容は。

答 市内の事業所に就業した際に、奨学金返還月額の2分の1の額（月額1万2千円が上限）に達するまで、2年間を期限とした返済

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く17人の議員で構成、委員長菊池美也議員、副委員長菊池浩士議員）は、条例9件、予算17件、その他4件について付託を受け、審議を行いました。

今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑が交わされました。その結果、29議案を原案のとおりに可決、1議案を否決しました。

プレミアム付き商品券を発行

問 目的は。

答 10月の消費税率の引き上げにあわせて、低所得者、子育て世帯への影響を緩和する。また、市内の消費を喚起することを目的とする。

問 内容と対象は。

答 住民税非課税者、3歳未満の子がいる世帯に引換券を発行し、2万円で2万5千円分の商品券を購入できる。問 利用しやすい工夫をしているか。

答 分割して購入でき、1枚の額面は500円とする。商品券の使用は市内限定となるが、引越す際は、転居先の引換券と交換して使用できる。

風の丘改修の計画変更

問 10億円程度かけて改修する計画があったが、変更したという点か。

答 平成29年度に示した計画は、予算の確保ができなかった。計画



風の丘入場者 2,000 万人達成記念セレモニーの様子

を見直し、既存の建物の構造計算を再度行った上で改修をしたい。

問 民家を移転させ計画積を広げてきた事業。その工事が無駄になるようなことはないか。

答 今回のような計画変更の際は、事前に議会に説明が必要と思うが。

答 民家はすでに解体済みで、道路拡張等の計画が予定通り進んでいる。

問 今回のような計画変更の際は、事前に議会に説明が必要と思うが。

答 今回のような計画変更の際は、事前に議会に説明が必要と思うが。